

学校法人菊武学園
名古屋経営短期大学
機関別評価結果

平成 26 年 3 月 13 日
一般財団法人短期大学基準協会

名古屋経営短期大学の概要

設置者 学校法人 菊武学園
理事長 高木 弘恵
学 長 高木 弘恵
A L O 西川 三恵子
開設年月日 昭和 40 年 4 月 1 日
所在地 愛知県尾張旭市新居町山の田 3255-5

設置学科及び入学定員（募集停止を除く）

学科	専攻	入学定員
総合ビジネス学科		135
子ども学科		60
健康福祉学科		60
	合計	255

専攻科及び入学定員（募集停止を除く）

なし

通信教育及び入学定員（募集停止を除く）

なし

機関別評価結果

名古屋経営短期大学は、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていることから、平成 26 年 3 月 13 日付で適格と認める。

機関別評価結果の事由

1. 総評

平成 24 年 6 月 12 日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現及び教育目標の達成に向けて改善に努めており、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていると判断した。

上記の判断に至った事由は、おおよそ次のとおりである。

当該短期大学は、「職業教育をとおして社会で活躍できる人材の育成」という建学の精神を掲げ、短期大学の理念として「職業教育を通じて、豊かな人間性と技能を育み、社会に貢献し、社会と共に幸せな生活を営むことのできる人材を育成する」と定めている。当該短期大学の理念及び 3 学科の理念は学則に明示されるとともに、建学の精神、短期大学の理念及び 3 学科の理念は「名古屋経営短期大学憲章」に定められ、学生便覧等に明示されている。

学習成果は、学科ごとに資格取得、検定試験等を中心に定められ、その成果は資格取得状況や専門職への就職率によって測定されている。自己点検・評価については、規程に基づき自己点検・評価委員会が設けられ、自己点検・評価活動を基に報告書をまとめて公表しており、高田短期大学との相互評価も行っている。

教育課程は建学の精神、教育目標の下、各学科の特徴を生かし、職能教育や検定講座が充実している。入学者受け入れの方針は大学案内や学生募集要項に明示され、多様な入学試験が実施されている。

なお、評価の過程で、三つの方針のうち、学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針及び各学科の入学者受け入れの方針が定められていないという、早急に改善を要する事項が認められたが、その後、機関別評価結果の判定までに改善されたことを確認した。今後は当該短期大学の継続的な教育の質保証を図るとともに、その向上・充実に向けたより一層の取り組みが求められる。

教員は成績評価の基準により学習成果を評価し、達成状況を資格取得状況等で把握している。また、教員は学生による授業評価を定期的に受け、授業改善に生かすとともに、学科会議において授業担当者間で意思の疎通、協力・調整を図っている。FD 推進委員主導で学生による授業評価アンケート調査、満足度調査や授業公開の取り組みも行われている。

施設設備や技術的資源など教育資源は整備され、有効に活用されている。情報教育として、職員の配置やコンピュータ教室の整備などパソコン環境が充実している。ま

た、キャンパス・アメニティや健康管理・カウンセリング体制も整っている。オープンカフェの活用やオリエンテーション、補習授業など、専任教員を中心として個別指導がなされており、当該短期大学のモットー「学生が主人公」・「面倒見の良い大学」・「自立した人」が実践されている。就職支援は年間を通して資格取得・就職対策に関する講座等を開催するなど、全学的かつ計画的に実施され、個別指導なども含めきめ細かに行われている。

教育研究活動については、研究室や研究活動の時間の確保、紀要等による研究成果の公表など、研究環境が整備され適切に運用されており、FD活動は活発に行われている。なお、評価の過程で、教員組織について専任教員数の未充足という早急に改善を要する事項が認められたが、その後、機関別評価結果の判定までに改善されたことを確認した。今後は当該短期大学の継続的な教育の質保証とともに、その向上・充実に図るためにも適切な自己点検・評価活動が求められる。

事務組織は整備され、適切な業務執行がなされている。学内 LAN の整備により、情報の共有化や教員との連携が十分に図られ、学習成果の向上のため有効に機能している。SD活動として学園主催の研修会のほか、短期大学事務局独自の研修会も実施している。

校地・校舎は短期大学設置基準を満たしており、施設設備及び図書館等の物的資源は整備され、パソコン教室や自習室等を有効に活用している。平成 13 年度から継続して ISO14001 認証を取得し、全学的に地球環境保全に取り組んでおり、また、ICT 環境の構築を積極的に行い、学習支援に効果をあげている。

財的資源では、中期財務計画を策定して健全化に努めているが、定員充足率の漸次減少に伴って支出超過の傾向となっており、学生募集に関する具体的方策を策定し、改善を図りたい。

理事長のリーダーシップは確立しており、理事会は適切に選任された理事により構成され、寄附行為に規定された理事会及び常任理事会により、学校法人の意思決定が行われている。学長は理事長が兼任し、短期大学の運営・教育全般にリーダーシップを発揮している。教授会は 3 学科の学科会議及び各種委員会で議論された事項の審議及び報告を行い、適切に運営されている。

監事は私立学校法の規定に基づいて、学校法人の業務及び財産の状況について監査を行い、毎会計年度の監査報告書を作成し、理事会及び評議員会へ提出するとともに、経営の健全化に向けた意見を述べている。評議員会は私立学校法の規定に基づき、理事の 2 倍を超える評議員をもって組織され、適切な運営がなされている。

当該学校法人は、平成 20 年度に策定された中期財務計画を基に、毎年度の事業計画と予算を決定し、決定した事業計画の実行及び適切な予算執行に当たっており、資金運用、公認会計士による監査も適正に行われている。また、教育及び財務情報はウェブサイト公表・公開されている。

2. 三つの意見

本協会の評価のねらいは、短期大学教育の継続的な質保証を図り、短期大学の主体

的な改革・改善を支援することにある。そのため、本協会では、短期大学評価基準に従って判定される前述の「機関別評価結果」や後述の「基準別評価結果」に加えて、当該短期大学の個性を尊重し、その向上・充実を図る観点から以下の見解を持つ。

(1) 特に優れた試みと評価できる事項

本協会は当該短期大学の以下の事項について、高等教育機関として短期大学が有すべき水準に照らし、優れた成果をあげている試みや特長的な試みと考える。

基準Ⅱ 教育課程と学生支援

[テーマ B 学生支援]

- 当該短期大学は、「学生が主人公」・「面倒見の良い大学」・「自立した人」をモットーとし、少人数制の中で専任教員を中心として個別指導がなされるなどきめ細かな教育を実践している。
- 「自宅外通学者住宅補助」として自宅から短期大学まで公共交通機関を利用して片道2時間以上かかる学生に対して、住宅補助費の給付を行っている。
- ハンガリー、オーストラリア、韓国、中国の姉妹校や提携校において語学研修や保育研修を行い、訪問国の学生や現地の人々と交流することにより学生の異文化理解・生活習慣体験を促進し、学生の視野を広げ教養を高めている。

基準Ⅲ 教育資源と財的資源

[テーマ B 物的資源]

- 当該短期大学は、併設大学とともに平成13年11月、環境の国際認証規格であるISO14001を取得し、以降更新審査を継続してクリアし、環境教育をはじめ、ゴミの分別、ペットボトルのキャップを収集し発展途上国へポリオワクチンを贈る活動、太陽光発電等も行い、地球環境保全に対する配慮がなされている。

(2) 向上・充実のための課題

本協会は以下に示す事項について、当該短期大学が改善を図り、その教育研究活動などの更なる向上・充実に努めることを期待する。なお、本欄の記載事項は、各基準の評価結果（合・否）と連動するものではない。

基準Ⅱ 教育課程と学生支援

[テーマ A 教育課程]

- シラバスは前回の第三者評価の指摘を受け表記方法の統一がなされたが、各授業科目の達成目標・到達目標や準備学習の内容を盛り込むなど更なる充実が望まれる。
- 進路先からの卒業生の評価の聴取は、散発的に行われているが、学習成果の点検、教育の改善に生かすため組織的に取り組まれない。

基準Ⅲ 教育資源と財的資源

[テーマ A 人的資源]

- FD 活動については、内規による運用ではなく、組織的に運用が図れるよう規程の整備が必要であり、同様に SD に関する規程の整備が望まれる。

[テーマ D 財的資源]

- 総合ビジネス学科及び健康福祉学科の定員未充足の現状を改善するための適切な措置を講じられたい。また、短期大学全体の収容定員の充足状況も低いので、充足率改善に向けて努力されたい。

(3) 早急に改善を要すると判断される事項

以下に示す事項は、問題・課題などが深刻であり、速やかな対応が望まれる。

基準Ⅱ 教育課程と学生支援

[テーマ A 教育課程]

- 評価の過程で、三つの方針のうち、短期大学全体の入学者受け入れの方針以外、学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針及び各学科の入学者受け入れの方針が定められていないという問題が認められた。

当該問題については、機関別評価結果の判定までに対処し、教育研究の改善に努めていることを確認した。今後は定められた三つの方針の下、継続的な教育の質保証を図るとともに、その向上・充実に向けた取り組みにより一層努められたい。

基準Ⅲ 教育資源と財的資源

[テーマ A 人的資源]

- 平成 25 年 5 月 1 日現在において専任教員数に 1 人不足があり、短期大学設置基準を満たしていなかったという問題が認められた。

当該問題については、機関別評価結果の判定までに補充し、教育研究の改善に努めていることを確認した。今後は法令遵守の下、適切な自己点検・評価を行い、継続的な教育の質保証により一層取り組まれたい。

3. 基準別評価結果

以下に、各基準の評価結果（合・否）及び当該基準を合又は否と判定するに至った事由を示す。

基準	評価結果
基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果	合
基準Ⅱ 教育課程と学生支援	合
基準Ⅲ 教育資源と財的資源	合
基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス	合

各基準の評価

基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果

当該短期大学は、創設以来の伝統を踏まえて、「職業教育をとおして社会で活躍できる人材の育成」という建学の精神を掲げている。また、教育理念は、「職業教育を通じて、豊かな人間性と技能を育み、社会に貢献し、社会と共に幸せな生活を営むことのできる人材を育成する」ことを目的とし、総合ビジネス学科、子ども学科、健康福祉学科それぞれの理念も確立している。当該短期大学の理念及び3学科の理念は学則に明示されるとともに、建学の精神、短期大学の理念及び3学科の理念は「名古屋経営短期大学憲章」に定められ、学生便覧に明示されている。さらに学生に対しては入学式、入学直後の1年生を対象とした必修科目「ライフプランニング」において周知し、大学案内及びウェブサイトにも掲載されている。なお、「名古屋経営短期大学憲章」の制定は、前回の第三者評価において向上・充実のための課題とされていた「建学の精神・教育理念を組織的に検討、討議し、周知する工夫が望まれる」に対する改善の一環として行われており、その成果が認められる。

学習成果については、資格取得、検定試験合格により、ビジネス情報処理、観光ビジネス、医療事務などの職業、保育者や幼児教育者、介護福祉士などの専門職業への就職を目指すと定められている。学習成果は資格取得状況や専門職への就職率によって測定されており、資格取得や検定試験のために必要とされる授業科目を整備し、履修させている。なお、教育の向上・充実のためのPDCAサイクルは有しておらず、今後の課題として認識されている。

自己点検・評価については、規程に基づいて自己点検・評価委員会が組織され、自己点検・評価活動を基に報告書をまとめて公表している。また、平成23年度には高田短期大学との相互評価も行っており、自己点検・評価活動等の実施体制が確立し、向上・充実に向けて努力している。

基準Ⅱ 教育課程と学生支援

学位授与について卒業要件、成績評価の基準等は学則に明示されている。教育課程は建学の精神・教育目標の下、それぞれの学科の特徴を生かした科目構成になっている。特に職能教育や資格取得・検定試験に関する支援体制が充実しており、学生一人

ひとりの目的や目標に沿った学習が系統的に学べる環境が整備されている。一方、授業科目数が多いため、学生が適切に選択し履修できるような配慮・支援が望まれる。またシラバスは、各授業科目の達成目標・到達目標や準備学習の内容を盛り込むなど更なる充実が望まれる。さらに、3学科とも資格取得を中心に教育課程を編成しているが、資格を取得しないまま卒業する学生の増加、卒業生の進路先からの評価の聴取も組織的に行われていないなど、組織的な改善の取り組みが必要である。なお、三つの方針のうち、学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針及び各学科の入学受け入れの方針が定められていなかった点については、機関別評価結果の判定までに改善されたことを確認した。

教員は成績評価の基準により学習成果を評価し、達成状況を資格取得状況等で把握している。また、教員は学生による授業評価を定期的に受け、授業改善に生かすとともに、学科会議において授業担当者間で意思の疎通、協力・調整を図っている。FD推進委員主導で学生による授業評価アンケート調査や満足度調査、授業公開の取り組みも行われている。

併設大学とキャンパス、施設設備を共用しており、施設設備や技術的資源など教育資源は整備され、有効に活用されている。情報教育については、職員の配置やコンピュータ教室の整備などパソコン環境が充実している。また、キャンパス・アメニティや健康管理・カウンセリング体制も整っている。オープンカフェの活用やオリエンテーション、補習授業など、専任教員を中心として個別指導がなされており、当該短期大学のモットーとする「学生が主人公」・「面倒見の良い大学」・「自立した人」が実践されている。なお、補習授業は各教員によって個別に行われているが、そうした実施状況を集約し、組織的な取り組みとすることで、更に教育の充実を図りたい。「自宅外通学者住宅補助」として、自宅から短期大学までが公共交通機関を使って2時間以上かかる自宅外通学者を対象に住宅補助費を給付する経済的支援も行われている。また、ハンガリー、オーストラリア、韓国、中国の姉妹校や提携校において語学研修や保育研修を行うなど、学生の視野を広げ教養を高めている。

就職支援は年間を通して資格取得・就職対策に関する講座等の開催など、全学的かつ計画的に実施され、個別指導なども含めきめ細かに実施されている。社会的活動として、子ども学科では入学時に全員がボランティア活動に対応した保険に加入するなど、学生のボランティア活動を推奨している。また、授業「ボランティア活動」やゼミ活動の一環として、地域でボランティア活動を行っており、地域に根差した活動が積極的に実施されている。

基準Ⅲ 教育資源と財的資源

各学科の教育目標に基づいて教員組織を編成しているが、平成25年5月1日現在において短期大学全体の専任教員数が1人不足していたが、その後、機関別評価結果の判定までに補充し、教育研究の改善に努めていることを確認した。

教育研究活動については、研究室、研修時間の確保等、教員の研究環境が整備され、科学研究費補助金を獲得し、紀要等に研究成果を掲載して公表するなど、適切な運用

が図られている。FD 活動に関しては、活発な取り組みが行われているが、授業改善を主とした内規による運用を図っているため、FD 規程を整備し、全学的な取り組みとすることが望まれる。

事務組織は整備され、適切な業務執行がなされている。学内 LAN の整備により、情報の共有化や教員との連携が十分に図られており、学習成果の向上に有効に機能している。SD 活動は実施されているが、事務職員の SD 活動に関する規程を整備した上で、さらに人事評価制度を構築して SD 活動と連動させ、計画的な資質向上に向けて取り組まれない。

校地・校舎は短期大学設置基準を満たしており、施設設備及び図書館等の物的資源が整備され、パソコン教室や自習室等を有効に活用している。なお、老朽化が認められる施設が複数あり、財的資源とも連動するが、計画的な補強・改修に向けた取り組みが必要である。平成 13 年度から継続して ISO14001 認証を取得し、全学的に地球環境保全に取り組んでおり、全学的な地球環境保全及び危機管理への意識は高いが、危機管理規程及び危機管理マニュアル等を整備して、危機対応に関する全学的な共通認識の構築が望まれる。ICT のめざましい進展に合わせ、より高度な環境整備を積極的に行っており、学習支援等に効果的な学内 LAN を適切に運用し十分に活用している。

財的資源では、中期財務計画を策定して健全化に努めているが、定員充足率の漸次減少に伴って支出超過の傾向となっている。短期的な対処をはじめ、主たる要因である定員充足率の改善を図るため、特に学生募集に関する具体的方策の策定が必要である。

基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス

理事長は建学の精神及び教育理念を理解し、毎会計年度終了後、監事の監査を受け理事会の議決を経た決算及び事業の実績を評議員会に報告し、その意見を求めている。理事は適切に選任され、理事会は適切に構成されており、寄附行為に規定された年 3 回の理事会に加えて、毎月常任理事会を開いて、学校法人の意思決定を行っている。理事長は、学校法人を代表し、その運営全般にリーダーシップを発揮している。

学長は理事長が兼任しており、学長選考規程に基づいて理事会で選任され、短期大学の運営・教育全般にリーダーシップを発揮している。教授会は、3 学科の学科会議及び各種委員会で議論された事項の審議及び報告を行い、適切に運営されている。併設大学と共通の委員会も含め、教学に必要な各種委員会が設置されており、教育研究に必要な事項などを審議し活動している。

監事は、私立学校法の規定に基づいて、学校法人の業務及び財産の状況について監査を行い、毎会計年度に監査報告書を作成し、理事会及び評議員会に提出するとともに経営の健全化に向けた意見を述べている。

評議員会は、私立学校法の規定に基づき、理事の 2 倍を超える評議員をもって組織されている。評議員会の開催に当たっては、事前に議案に対する説明資料を送付し、評議員から意見を聴取しており、欠席する場合には、あらかじめ書面をもって議案ごとに賛否の意思表示を求めている。また、寄附行為に従い、学校法人の業務に関する重

要事項について、理事長は、あらかじめ評議員会の意見を聞いている。

当該学校法人は、平成 20 年度に策定された中期財務計画を基に、関係部門からの意向を踏まえて、毎年度の事業計画と予算を決定するとともに、適切な予算執行に当たっている。また、毎年公認会計士が監査を行い、意見を述べ、学校法人はそれに対して適切に対応している。資産及び資金の管理と運用は適切な会計処理に基づき、適正になされており、寄付金の募集も適切である。学校法人のウェブサイトにおいて、教育及び財務情報を公表・公開している。

選択的評価結果

本協会は、短期大学の個性を伸長させることを目的として、「教養教育の取り組み」、「職業教育の取り組み」、「地域貢献の取り組み」という三つの選択的評価基準を設けている。これらの三つの取り組みは4基準にも含まれているが、各短期大学の取り組みの特色がより鮮明になるよう、4基準とは別に設定した。

選択的評価は個々の短期大学の希望に応じて実施し、課外活動も含め、それぞれの独自性が一層発揮されるよう当該短期大学の取り組みの達成状況等について評価を行った。

職業教育の取り組みについて

総評

当該学校法人は、「職業教育を通して社会で活躍できる人材の育成」を建学の精神として創設された。当該短期大学は、「名古屋女子商科短期大学」として創立され商科を設置し、以後、学科の増設や、学科の統合等がなされ、現在の「名古屋経営短期大学」、3学科体制となった。創設以来現在まで、「職業教育を通じて、豊かな人間性と技能を育み、社会に貢献し、社会と共に幸せな生活を営むことのできる人材を育成する」という教育理念を基に、学科の理念も、総合ビジネス学科は「ビジネス社会の中で求められる豊かな教養と幅広い実務知識や実践的な資格を修得し、豊かな人間性に富んだ人材を育成する」、子ども学科は「保育士や幼児教育者を目指し、高い専門性と豊かな人間性に富んだ人材を育成する」、健康福祉学科は「介護福祉士を目指し、専門的な知識や技術を修得し、人間性に富んだ人材を育成する」となっている。建学の精神、大学の理念、学科の理念をまとめて「名古屋経営短期大学憲章」に明記し、全学科が教育目標として、職業に直結する知識・技能を獲得し、検定試験合格・資格取得を経て専門職への就職を目指している。

少人数のきめ細かな教育を行い職業教育に対する学生の授業満足度等の評価も高く、卒業生の就職率の高さは短期大学の平均を大きく上回っている。なお、総合ビジネス学科は平成26年度から未来キャリア学科へ名称を変更する予定である。

当該短期大学の特色が表れている取り組み

- 総合ビジネス学科において、学科推奨の資格・検定一覧を記載した「グッジョブノート」を学生に配布して、2年間での取得計画を学生自らが立て、その合否を記入するよう指導し、資格取得・検定合格を奨励している。また、5種以上の検定合格者や国家試験合格者を表彰する制度を設けている。
- 子ども学科において、愛知県私立幼稚園連盟幼稚園統一試験を学生全員に受験させ、県下での本人の学力や順位をつかみ、幼稚園・保育園への就職活動に役立てている。

- 健康福祉学科において、介護福祉士の資格取得に必要とされる科目が再履修となった学生に対して、個別指導を行っている。さらに、介護福祉士養成施設協会作成の「全国介護福祉士共通試験」において全体平均 70 点以上を目指し、目標に到達するまで個別指導を行っている。

地域貢献の取り組みについて

総評

当該短期大学は、併設大学とともに愛知県尾張旭市内唯一の短期大学・大学として地域貢献の取り組みに尽力している。

地域社会に向けた公開講座、授業開放として、地元尾張旭市との協定により、「尾張旭市長寿学園」の要請に基づき、健康体操（自きょう術）、パソコン・英語講座、バルーンアートなどの講座を提供している。また、健康福祉学科では、ヘルパー資格取得者や介護・福祉に関心のある人々などを対象として様々な講座を提供している。さらに介護福祉士国家試験対策として夜間講座を開き、近隣周辺の施設関係者が 60～80 人以上参加し、公開講座及び生涯学習授業を受講している。さらに、夏休みには図書館を市内の高校生に開放し、自習、調査の場を提供している。

地域社会との交流活動については、学科ごとに行われている。子ども学科は、当該学校法人が尾張旭市の指定管理者となっている「尾張旭市立稲葉保育園」との交流、総合ビジネス学科はコミュニティ FM ラジオ局と交流があり、健康福祉学科は尾張旭市と共催で「長寿学園」を開催している。

当該学校法人は平成 21 年 10 月より、地域のエコキャップ収集拠点となり、エコキャップ収集ボランティアを全学的に行っている。これまで発展途上国に贈られるポリオワクチン 4,905 人分のペットボトルのキャップを集めた。また、子ども学科では児童館での親子でのおもちゃ制作などの講座や、障がいのある子どもが通う施設における宿泊保育や運動会などの行事などにおいてボランティア活動を行っている。また、学内において「親子の集い」という絵本の読み聞かせを実施し、遊び場を提供することによって子育て支援を行っている。平成 24 年度から尾張旭ロータリークラブと連携して、東日本大震災の被災地福島県・宮城県に出向き、学習目的も含んだ「KEIEITAN ボランティア隊」を実施した。

当該短期大学の特色が表れている取り組み

- 当該短期大学は、併設大学とともに平成 13 年 11 月、環境の国際認証規格である ISO14001 を取得し、以降更新審査を継続してクリアしている。環境保護意識は高く、ゴミの分別だけでなく、環境フォーラムの開催、地域のエコキャップ収集拠点となってペットボトルのキャップを収集し発展途上国へポリオワクチンを贈る活動、太陽光発電等も行っている。
- 当該学校法人は、例年、夏まつりを行っている。尾張旭市の「尾張旭たのしい夏まつり」と同時開催で、「菊武夏まつり」を開催し、親子連れなど市民約 3,300 人が

キャンパスを訪れた。市内三つの中学校の吹奏楽演奏、ライブ、大道芸人のパフォーマンス、模擬店、フリーマーケット、ミニ動物園、幼児向けのおめん屋、市のシンボルであるヒマワリのオブジェ制作などを行い、地域との交流を深めた。模擬店及びフリーマーケットの売り上げは東日本大震災ボランティアへ参加する学生を通じて被災地へ義援金として送られている。